第 35 号
平成27年2月1日
（隔月発行）

発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル１階

# ゆめこらぼ　平成２６年度活動模様ならびに予定

市民協働推進センターゆめこらぼは、3 月で開設後 6 年になります。年々、NPO や市民活動団体の登録数も増え、現在では 120 団体を超える登録をしていただいております。ゆめこらぼの活動内容も 5 本柱「相談およびサービス提供事業」「情報提供事業」「地域連携促進事業」「市民活動団体や NPO 支援事業」「協働推進事業」をたてて、市民活動を支援してきました。以下、今年度 12 月末の活動模様です。

## 平成 26 年度第四半期活動予定

平成 27 年 1 月～3 月　第三者評価委員会
平成 27 年 2 月、3 月　まちづくり円卓会議
平成 27 年 2 月　ゆめサロン

## 相談およびサービス提供事業

サロンコーナー　メール BOX　印刷機

サロン利用者 140 人､印刷機＆コピー機利用 245 件、メール BOX 利用団体 77 団体（12 月末現在）

## 情報提供事業

イベントチラシ(月単位)
毎月実施されるイベント総覧

ホームページ
イベント総覧や団体紹介

ゆめこらぼ通信(隔月)

## 地域連携促進事業

▲まちづくり円卓会議

▲避難所運営ゲーム

まちづくり円卓会議　8/4 第 1 回まちづくり円卓会議
テーマ「農作業の実践から今後についての話し合い」

避難所運営ゲーム　教育機関関係者、公民館、福祉関係などを対象に 8 回実施

## 市民活動団体や NPO 支援事業

▲NPO 市民フェスティバル

▲交流の集い

NPO 市民フェスティバル 11/22 活動団体展示やパフォーマンス紹介

交流の集い 6/28 団体同士とのネットワークづくり

▲セミナー＆講座

▲ゆめサロン

セミナー＆講座　4/26 決算セミナー、5/23 労務講座

ゆめサロン　5 団体実施

## 協働推進事業

協働を考えるシンポジウム(10/24 実施)



## ♥♥ゆめこらぼ事業・活動紹介♥♥

### ゆめサロン
### 「知ること」から始まるバリアフリー

12 月 8 日(月) に、ぶーけ(西東京市障がい児の自立を考える保護者の会)代表の久松順子氏をお迎えし、障がい児を取り巻く現状とぶーけの活動についてお話をしていただきました。

親、子ども、きょうだいも安心して生活できるようにするためには何が必要なのか。情報収集、勉強会、行政との関わり方、現状の把握といった多岐にわたる活発な活動内容についての紹介がありました。昨年 11 月からは「ペアピアカウンセリング」も開設したとのこと。相談者と同じ立場の相談員が親身になってアドバイスするグループ相談会です。

子どもが自立するまでの準備や親が亡くなった後の障がい児の行く末までしっかりと見つめ、地域の人々との相互理解と協力を得て、その具体的な対策に向けて活動している姿勢に共感しました。

参加者それぞれが、「何が出来るのか」を考える良いきっかけとなったゆめサロンでした。

### 26 年度南部モデル地区会議

12 月 9 日(火) に、協働コミュニティ課が主催する 26 年度南部モデル地区会議の今年度第 4 回目の会合が開催され、出席しました。

この会議は、地域のコミュニティ再構築を目指し、地域の問題・課題を解決するための住民のネットワーク組織「(仮称) 地域協議体」を設立する準備を行っており、南部地域（向台町、南町、新町、柳沢、東伏見）をモデル地区として設立に向けて検討しています。

第 1 回では「南部地域の課題の抽出」、第 2 回では「南部地域をこんなまちにしたい・・・その実現のために各団体ができることは？」をテーマに話し合い、第 3 回学習会「先進市事例に視察」では、調布市の石原地区協議会役員会を見学しました。

第 4 回は、今年度最終回ということで、第 3 回の視察結果の報告と感想の共有、平成 27 年度設立までのスケジュールと設立準備会についての説明が行われました。どんな協議体にするか、役割等については来年度詰めていくことになるようです。

## ◆◆登録団体活動紹介◆◆

### マドレボニータ西東京チーム
### 産前・産後セルフケア講座

「マドレボニータ西東京チーム」は、地元に産後ケアを広める活動をしています。12 月 6 日(土)、「きらっと」にて、「カップルのための産前・産後セルフケア講座」を開催しました。これは NPO 法人マドレボニータが通常は産後女性向けに提供しているプログラムを夫婦向けにアレンジした人気講座です。4 組 8 名の夫婦と生後 4 ヶ月の赤ちゃんが(1)バランスボールを使った有酸素運動 (2)夫婦でのコミュニケーションワーク (3)自宅でもできるセルフケア に取り組みました。子どものケアに手一杯で運動不足になったり、パートナーとの会話が滞り、意思疎通に問題が発生したりしがちな産前・産後。この日はエクササイズで思い切り汗をかき、パートナーと「人生・仕事・パートナーシップ」への思いを語り、聴き合いました。参加者からは「2 人で時間を共有できて、日々を追われている生活を見直す、いいきっかけになった(30 代男性)」といった感想が寄せられました。

(マドレボニータ西東京チーム 太田 智子氏記)

### Newカレッジ広場　（公民館市民企画事業）
### 「楽しいエコ トンボを作って飛ばそう」

12 月 14 日(日)次々に親子連れが田無公民館に集まり、 総勢 17 人が牛乳パックのエコトンボ作りに挑戦しました。最初に牛乳パックがいかに大切な資源なのかというお話があり、エコトンボ作りが始まりました。羽のバランスを取るのがなかなか難しそうで、飛ばす段になっても、うまく飛んでくれません。講師陣が丁寧にひとり一人にコツを伝授すると、みるみる飛ぶようになり、半べその子もたちまち笑顔になりました。

主催者の New カレッジ広場は地域活動の一環として、毎年千葉県松戸市のエコトンボの会の講師を招きエコトンボづくり教室を開催していて、小学校の総合学習の依頼もあるそうです。楽しく遊びながら、身近な廃棄物を使って何かできないかと考える場を与え、子どもたちに環境意識を持って欲しいという思いは、きっと子どもたちの心に届いたに違いありません。また幼き日の良き思い出として心に残ることでしょう。

## ◆◆登録団体活動紹介◆◆

### 憲法を守り活かそう西東京市民パレード実行委員会
### 第５回憲法を守り活かそう西東京市民パレード

12 月 23 日(火)憲法を守り活かそう西東京市民パレード実行委員会主催で第５回憲法を守り活かそう西東京市民パレードが実施されました。約 50 名を超える多くの方が出発集会とパレードに参加し、市民への特別アピールを行いました。

田無庁舎前での出発集会では実行副委員長あいさつ、各代表発言(9 条の会など、4 団体の代表発言)、特別アピール内容説明、斉唱、シュプレヒコールなどが行われました。

集会終了後パレードに移り、思い思いのプラカードやのぼり旗を掲げながら、シュプレヒコールを唱和したり、街行く人にパレードへの参加を誘ったり、田無庁舎から西東京市民会館までパレードを行いました。平和への願いと、人々の暮らしを守るたたかいをあら草の根のように深く広げ、この国に強固な平和の砦を築く一歩を目指しているとのことでした。

### NPO法人ラマーミトゥルの会
### 第５回スリランカを知ろう

1 月 17 日(土)田無公民館で NPO 法人ラマーミトゥルの会主催で「第 5 回スリランカを知ろう」が開催されました。20 人程が参加し、最初の料理作りからスタートし、スリランカの庶民が普段、食事している雰囲気を参加者で味わいました。料理は野菜をスパイスで煮込んだサンバール、クレープ風のトーセとミルクライスで美味しく、優しい味を堪能しました。食事と会話で和んだ後、スリランカ出身で大学博士課程在学のニルマラ・ラナシンハさんに出身地の話や日本とスリランカの文化の違いをお話しされました。次にスリランカの方と結婚している林美幸さんが、ご夫婦で来られてスリランカの料理を中心に話していただきました。大勢集まって食事を作ってみんなで食事をするなど、人と触れ合いが残っていることに感心したり、飲みに行った時はお金を持っている人が支払うなど助け合う精神を生かしていることに感心したり、スリランカの文化に触れることが出来ました。

### 非核・平和をすすめる西東京市民の会
### 被爆体験から学び、核のない 21 世紀を創るために

非核・平和をすすめる西東京市民の会は、西東京市の平和推進事業として 4 月 12 日の「平和の日」にイベントを行ったり、広島への旅やピースウォークなどを行っている団体です。1 月 11 日(日)、秋葉忠利氏(ヒロシマ・ピース・オフィス代表、前広島市長)を招いての講演会が行われました。憲法・集団的自衛権・天皇など、話題はあらゆる事柄に及びましたが、中でも印象的だったのは、国際連合での取り決め、包括的核実験禁止条約などは未発効であるにも関わらず実質的に機能しているという話題です。それは法律としての有効性を世論が規定することが出来ることを示しています。市民は国の政策に対して盲目的に従うのではなく国の行動を抑制することもできるということでした。西東京市の市民の皆さん一人ひとりが声をあげることが大事だと繰り返していました。核についてどうしたら良いか、皆が考えるきっかけになった講演でした。

### 対話ラボ
### 生きる安心を支える地域のつながり

1 月 18 日(日)コール田無で対話ラボ主催のワークショップ「生きる安心を支える地域のつながり」がありました。立川市で 15 年間野宿者支援を行っている NPO 法人さんきゅうハウスの吉村一正氏のゲストトーク、地域課題に取り組む西東京市社会福祉協議会の利光有紀氏と居場所を提供するおうちサロンひなたの板垣洋子さんの事例紹介に続き、スタッフ・ゲストが加わっての話し合いが行われました。炊き出し・入浴支援等から始まり、居場所としてのコミカフェを運営している吉村さんは隣近所からは白い目で見られたり、友人からは大変なことに足を突っ込んだなとも言われたりしたようです。自らは「助けてくれ」とは言わない人達に接して人生勉強させてもらっていると語っていました。人手も資金も不足している中でそんな人達を「地域家族」と考えているという話が印象に残りました。暖かい雰囲気の話し合いの後、初対面の皆で写真を撮りました。

### まちづくり円卓会議　参観者募集

今回のまちづくり円卓会議のテーマは**「子どもの声に向き合うために～今、私たちにできること～」**

困っている子どもや大人に寄り添って
何ができるのか、話し合っていきます。

子ども・子育て支援の専門家による講演と現場で活躍中のまちづくり円卓会議メンバーの話し合いを参観してみませんか？

今回は第 1 回目で、3 月に次回を開催する予定です。

日時:平成 27 年 2 月 28 日(土)午後 1 時 30 分～4 時 30 分
場所:田無総合福祉センター2 階・視聴覚室
講演＆ファシリテーター: 以下の 2 名で対応します。
安部芳絵氏
(早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員)
上田美香氏
(日本大学　非常勤講師)
参観対象者:市内在住・在勤・在学の方
定員:50 名(申込順)　参加費:無料

### 地域デビューしたい方への情報提供

「おとぱ」分科会委員の田巻威彦氏から西東京市の活動団体の資料をご提供いただきました。平成 26 年 12 月 1 日時点の 626 活動団体について団体名、活動概要、活動場所、活動予定スケジュールなどを記載した資料です。

地域デビューしたい方のお役に立つものと思います。ご関心のある方はゆめこらぼへお越しください。

### 募集情報

**NPO 法人稲門寺子屋西東京の新学期入学生募集**

経済的理由等で塾に通っていない、家庭教師に教わっていない、公立校に通う新小学 5 年生～中学 2 年生までの児童・生徒に無料で教えます。説明会、申込方法や教室の場所、時間等は 3 月より公民館においてあるチラシをご覧ください。

◆科目：国語、算数・数学、英語
◆詳細：http://www.terakoya-nt.org
◆問合：080-4125-1038 小嶋

### 新たな登録団体＜2014 年 11 月～12 月＞

◆西原自然公園を育成する会

目的：西原自然公園の樹木の更新を図り、公園としての機能を高める。

＜2014 年 12 月末現在で 122 団体になりました＞

### みんなの本棚

「親と地域でつながる支援
ペアレント・メンター
活動ハンドブック」
日本ペアレント・メンター研究会　著　学苑社　発行

本書は、発達障害児を持つ親どうしの相談活動の手法について書かれたものである。「ペアレント」は「親」、「メンター」は「良き助言者」という意味である。西東京市では市民団体と協働で対象を発達障害児の親に限定しない、様々な障害を持つ子どもの保護者どうしの相談活動を「ペアピアカウンセリング」という名称で開始した。どんな種類の障害でも、親は子どもに障害があるかもしれないと悩んで診断を受けた時など、非常にショックを受け不安に陥る。そんな時、同じ立場の先輩保護者の経験や地域の障害者支援情報は、とても役に立ち、心強いものである。この相談活動は、障害の早期発見・早期療育につながり、親が子育てに前向きになる支援になる。

当事者のみならず、自治体や子育て団体、保育や教育機関、医療機関など地域の様々な力の連携があって上手くいくものである。本書には、これらの関係者の参考にもなるであろう親の悩みや、それらに対するアドバイスも豊富に掲載されているので障害児や保護者と関わる機会のある方にも、一読を薦めたい。

また、このような当事者による活動が一般に知られるようになることで、障害者理解にもつながるのではないだろうか。そんな願いを込めて、この本を紹介させてもらった。　　(ひばりが丘在住　久松 順子氏)

### 編集後記

新たな年を迎え、今までの振返りとさらに発展するための取組みを市民活動団体とともにゆめこらぼはチャレンジしていきたいと思います。

西東京市　市民協働推進センター　ゆめこらぼ
〒188-0012 西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
http://www.yumecollabo.jp/
ゆめこらぼ
モバイルページ
開館時間　午前 10 時～午後 9 時
休館日　毎週火曜日（祝日の場合は開館し次の平日が休館日）